

2023年度事業報告

2023年4月1日から2024年3月31日まで

一般財団法人 中部圏地域創造ファンド

一般財団法人中部圏創造ファンド（以下本財団と言う）は、NPO等をはじめとする民間公益活動を行う団体に対して、資金支援や人材育成支援等を行うことを目的に2018年2月15日に設立し、各種基金の設立に努めるとともに、休眠預金等活用法（2018年1月1日施行）における資金分配団体の活動を進めてきた。

2023年度においても、各種基金の設立・運営とともに、休眠預金・資金分配団体活動について、「2021年度選定・草の根活動支援事業」及び「2022年度選定・新型コロナウイルス緊急支援事業」を実施した。また、新たに及び「2023年度選定・草の根活動支援事業」も加わり、実行団体公募など2023年度に向けて準備業務に取り組んだ。

1 基金事業

（1）わたしの基金（冠基金）

①水谷潤平教育基金

6年目となる本年度は、5万円を受け入れ（8月5日）、「NPO法人全国こども福祉センター」と「竹の子ボランティアサークル」に各2万円を寄付した。

②ハルカ基金

4年目となる本年度は、一般財団法人愛知県労働者福祉基金協会から48万円を受け入れ（1月10日）、同協会と本法人の協議の結果、「特定非営利活動法人ミーネット（中区）」及び「特定非営利活動法人CAPNA（中区）」に対し各15万円、「認定NPO法人ひょうたんカフェ（中村区）」に10万円の計40万円を活動資金として寄付した。2024年1月26日には、一般財団法人愛知県労働者福祉基金協会理事長らと3団体を訪れ贈呈式を行った。

（2）いいね基金（共感基金）

起業家精神はぐくみ基金を新たに立ち上げるとともに、南海トラフ巨大地震対策を支援する基金には寄付もあり、2024年度には基金を活用した事業の展開を目指す。

（3）財団応援基金

2023年度は、4者から185万円の寄付を受け入れ、財団運営に活用した。

2 休眠預金等活用法における資金分配団体としての事業

（1）草の根活動支援事業 2021・チームによる支援活動の広域展開（2021.11～2025.3）

2021年11月10日、一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）と資金提供契約した本事業は、2022年4月に4コンソーシアム14団体の実行団体を選定し3か年の活動を開始しており、中間年となる2023年度の主な活動は次のとおり。

* 実行団体への3年間の助成金総額は101,400,126円（事業費96,758,821円 評価関連経費：4,641,305円）

① 実行団体を伴走支援

- ・毎月1回の月次面談（オンライン、対面）を行い、進捗状況を確認するとともに意見交換を実施。
- ・中間評価にかかる調査実施等の支援。
アンケート調査内容検討、子どもの行動変化記録ツール作成にかかる研修実施等
- ・中間報告会企画・実施についての支援。

コンソーシアム名	中間報告会
みえ子育て応援パートナーズ	11月6日
LivEquality連携を通じた母子家庭の居住環境改善事業	3月2日
あいちホームスタートコンソーシアム	2月14日
ぎふ外国につながる子どもの教育を考えるネットワーク	1月28日

- ・コンソーシアム新規加入団体についての加入手続き等の支援。

（2023年12月15日現在実行団体数：4コンソーシアム18団体）*1団体脱退（5月）

コンソーシアム名	新規団体
みえ子育て応援パートナーズ	のびのびっ子サークル（4月）
LivEquality連携を通じた母子家庭の居住環境改善事業	（一社）世界アーチング協会（4月）
ぎふ外国につながる子どもの教育を考えるネットワーク	子どもエデュニホ☆nico（4月） 恵那市国際交流協会（7月） （特活）まちづくりスポット（12月）

- ・会計にかかる書類作成支援、精算（月次）報告の確認。
- ・活動実態、ニーズに合わせた事業計画および資金計画変更手続き等の支援。
- ・12月15日、各コンソーシアムから提出の中間評価報告に基づき、最終年の事業計画等について、各コンソーシアムと議論。

② CCF の中間評価

- ・実行団体17団体に対し、草の根21事業についてのアンケート調査を実施するとともに、コンソーシアムが協働する自治体等にヒアリング調査を実施した。

- ・アンケート回答数 26件

コンソーシアム名	ヒアリング先
みえ子育て応援パートナーズ	桑名市 子ども未来部子ども未来課 こども総合センター 地域コミュニティ課女性活躍・多文化共生推進室
LivEquality連携を通じた母子家庭の居住環境改善事業	名古屋市東区社会福祉協議会
あいちホームスタートコンソーシアム	ホームスタートにしお（メールで回答）
ぎふ外国につながる子どもの教育を考えるネットワーク	岐阜県 清流の国推進部外国人活躍・共生社会推進課 教育委員会義務教育課 健康福祉部 子ども・女性局 子ども家庭課

- ・1月、CCFの中間評価をとりまとめ、3月29日にJANPIAとの中間評価レビュー会を実施。
JANPIA評価アドバイザーは、津富宏静岡県立大学教授。

③ コンソーシアムを組む名古屋学院大学(NGU)との取り組み

- ・コンソーシアム運営委員会を2回開催し、各コンソーシアムのNGU担当者を決定した。
- ・1月17日の運営委員会を開催では、出口戦略について議論。
- ・NGU担当者はコンソーシアムとの月次面談に随時参加し、意見交換を行った。
- ・各コンソーシアムを活動紹介する冊子作成・発行。

(2) コロナ・物価高騰対応助成事業2022・生活困窮世帯や社会的孤立者への支援事業(2023.3～2024.3)

2023年3月13日、JANPIAと契約した本事業は、12の実行団体を選定・契約し、1年弱の活動を開始した。2023年度の活動は次のとおり。

* 実行団体12団体への助成金総額89,135,401円(2023.7～2024.2)

① 実行団体名	所在地	事業名
特定非営利活動法人 泉京・垂井	岐阜県 不破郡垂井町	安心・安全な居場所づくり事業
特定非営利活動法人しんしろドリーム荘	愛知県 新城市	DX対応のリスキリングと地域連携で職を得て心から回復する事業
特定非営利活動法人POPOLO	静岡県 富士市	経済的に生活が苦しい方々への「生活支援」と「キャリア形成に向けた大人の学習支援」のトータルサポート
特定非営利活動法人 人と動物の共生センター	岐阜県 岐阜市	社会福祉支援機関と連携した、生活困窮者のペット飼育問題寄り添い相談支援事業
特定非営利活動法人 場作りネット	長野県 上田市	街を社会的インフラにするための場作り事業
外国人ヘルプライン東海	愛知県 名古屋市	生活困窮に陥った外国人住民の支援体制の強化
特定非営利活動法人 知多地域権利擁護支援センター	愛知県 知多市	社会的孤立者への支援付き住宅確保事業
特定非営利活動法人コネクトスポット	愛知県 岡崎市	豊かな関係性と体験を生むレンタカー企画事業
一般社団法人 愛知子ども応援プロジェクト	愛知県 名古屋市	こどもの「食」をまんなかに据えた社会的ネットワーク構築事業
特定非営利活動法人トルシーダ	愛知県 岡崎市	地域のハブ的役割を担う日本語教室とブラジル人学校でのキャリア教育支援事業
特定非営利活動法人 希望の光	愛知県 豊田市	新型コロナウイルスおよび物価高騰による経済的困窮に陥った外国ルーツ家庭の子どものための包括的支援事業
一般社団法人つなぐ子ども未来	愛知県 名古屋市	『公共冷蔵庫みんなのれいぞうこ』を通じた地域連携拡大と戦略づくり

② 実行団体を伴走支援

- ・月1回の月次面談や活動現場訪問の機会を通じて事業の進捗確認や助言をおこなった。
- ・活動現場訪問第1回目は9月、10月に、第2回目は12月、1月に実施し、それぞれ全団体を訪問した。
- ・創発会議（第1回）を9月28日にオンラインで開催した。地域との連携について先駆的な取り組みを実行している2つの団体からの活動事例を聞き意見交換をおこなった。
- ・ガバナンス・コンプライアンス研修を12月7日にオンラインで開催した。弁護士を講師に招き休眠預金制度が求める規程類の整備やガバナンス・コンプライアンス体制を整備する意義について学んだ。
- ・2024年1月22日（月）、ウィンクあいちで第2回創発会議を開催。コロナ禍でできなかった対面での開催とし、実行団体関係者に加え専門家、本事業の選定委員など30名以上が参加した。「コロナ2022実行団体の地域社会と連携した実践から学ぶ」をテーマに先進事例の紹介、交流会などを行った。
- ・2024年2月、実行団体活動紹介パンフレットを作成・発行
- ・2024年3月、実行団体による事業完了報告書が提出された。
- ・2024年4月～5月、CCFの事業完了報告、最終精算報告をJANPIAへ提出する。

(3) 草の根活動支援事業 2023_地方都市・農山村におけるコミュニティの持続的発展（2023.10～2027.3）

2023年度、一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）により採択された本事業は、10月5日に資金提供契約し、12月1日には実行団体を公募した。

* 実行団体（3チーム合計）への3年間の助成金総額76,461,483円（事業費72,933,483円 評価関連経費：3,528,000円）

① 採択された実行団体・事業

実行団体名	所在地	事業名
特定非営利活動法人 えんまる 現1) (社福) 湖会 現2) (特非) 東濃あすなろ会	長野県 長野市、上田市	コミュニティプラットフォームよるつながり支援事業
認定特定非営利活動法人 人と動物の共生センター 現1) (一社) 岐阜県動物愛護ネットワーク会議 現2) (一社) サステイナブル・サポート 現3) (特非) HAPPYDOGTEAM 現4) (特非) はみんぐアニマル	岐阜県内	生活困窮者ペット飼育問題を支える、コミュニティプラットフォーム
特定非営利活動法人 飛騨高山わらべうたの会 現1) 株式会社HIDA NET 現2) おやおやの会	岐阜県 高山市、飛騨市 下呂市、白川村	誰一人取り残さない！オール飛騨で地域ぐるみの子育て支援環境を！

実行団体の募集と選定

- ・公募要領の公開（WEBサイト等）12月1日（金）＝公募期間2023年12月1日～2024年2月5日。
- ・公募説明会（Zoom）の開催 12月6日、11日と2回実施。説明会参加者は合わせて63名。
- ・個別相談（Zoomで1団体約30分）を3日開催し10団体の相談に対応。加えてメールでも対応。
- ・9チームの応募があり、書類審査を経て2月29日（月）に選定会議を実施。3名の選定委員により候補チームを選定。
- ・3月11日に開催の第5回理事会で候補チームを内定団体とした。
- ・2024年4月～5月に、事業・資金計画の精緻化協議を行い、契約締結（正式決定）の予定。その後、各チームの幹事団体と現場団体が業務委託契約を締結し、事業をスタートさせる。

(4) 過年度終了事業の精算

- ・草の根活動支援事業 2019__NPO連携事業及び新型コロナウイルス対応緊急支援助成 2021__生活困窮世帯や社会的孤立者への支援事業は、2023年3月末をもって本事業を終了したため、2023年5月にはJANPIAに対し事業完了報告・精算報告を行い、助成金額を確定・精算した。本件については、2023年11月8日（水）に当財団事務所においてJANPIAによる監査が行われ、JANPIAから両事業について「休眠預金等活用事業における資金分配団体の役割を担い適正に実施し事業終了されていること、実行団体の活動に資金支援及び非資金的支援を必要に応じ伴走型で提供するよう努め、実行団体に対する必要かつ適切な監督を行われたこと等を確認した。」との通知があった。

4 受託事業

・愛知県災害中間支援組織設立に向けた協力団体調査

NPO法人ボランティアネイバーズから受託したもの。愛知県が南海トラフ巨大地震等の発災時に包括的な支援ネットワークの核となる「災害中間支援組織」の設立を検討するにあたり、「支援活動」「支援の調整」への協力可能性について状況把握するための調査事業（内閣府「官民連携による被災者支援体制構築」モデル事業）に関わる事務の補助業務で、ウェブ回答フォームの作成、調査票の発送準備など。委託料は755,000円。

5 理事会・評議員会等の開催

① 2022年度対象監事監査

日時：2023年5月24日

場所：愛知県林業会館2階研修室

② 第1回理事会（オンライン併用）

日時：2023年6月2日（金）

場所：愛知県林業会館2階研修室

議案：第1号議案 休眠預金事業__コロナ及び原油価格・物価高騰対応助成 2022実行団体の選定
第2号議案 2022年度事業報告及び決算報告案 *監事監査報告

第3号議案 任期満了に伴う理事改選案について

第4号議案 顧問・政策委員の選任について

第5号議案 2023年度定時評議員会の招集について

(承認事項) 2023年7月期職員賞与について

以上の議案等を承認

報告事項：(1) 2023年度休眠預金資金分配団体申請

(2) 休眠預金事業の進捗状況

(3) 2022年度下期理事長及び業務執行理事の活動状況

(4) 資金繰り表(6月1日)

③ 定時評議員会次第(オンライン併用)

日時：2023年6月16日(金)

場所：愛知県林業会館2階研修室

議案：(1) 第1号議案 2022年度事業報告及び決算報告*監査報告、(2) 第2号議案 任期満了に伴う理事改選案の2議案を承認

報告事項：(1) 休眠預金事業の進捗状況について

(2) 2023年度の助成金申請状況

(3) 2023年度事業計画及び収支予算

④ 第2回理事会(みなし決議による)

日時：2022年6月27日(火)

議案：第1号議案 理事長の選定については、稲垣 隆司 理事を理事長に選定した。任期は、2025年度定時評議員会終結時まで。

第2号議案 業務執行理事の選定については、次のとおり選定した。任期は、2025年度定時評議員会終結時まで。

山田 雅雄 理事 副理事長(理事長補佐、代行)

羽根田英樹 理事 総務・助成(企画、選考)担当

雨森 孝悦 理事 事業企画(調査・研修・啓発)担当

小林 宏之 理事 寄付募集・ファンドレイジング担当

第3号議案 役員報酬について、役員の報酬並びに役員及び評議員の費用に関する規程に基づき、役員報酬の対象常勤理事を次のとおりとした。

・羽根田英樹 理事

⑤ 第3回理事会(オンライン併用)

日時：2023年9月21日(木)

場所：愛知県林業会館2階研修室

議案：第1号議案 休眠預金事業__草の根2023資金分配団体の採択・契約について承認

報告事項：（１）休眠預金事業の進捗状況 ① 草の根活動支援事業2021、② コロナ・物価高対応
緊急支援事業2022
（２）今後の助成事業の在り方に関するヒアリング結果
（３）資金繰り表（9月1日）

⑥ 第4回理事会（オンライン併用）

日時：2023年12月15日（金）

場所：愛知県林業会館2階研修室

協議事項：休眠預金事業はじめ各事業の進捗報告と意見交換をした

承認事項：草の根活動支援事業2023実行団体選定会議の設置、役員報酬理事の改定、本年度12月
期職員賞与の支給について承認した。

報告事項：（１）理事長及び業務執行理事の職務執行状況（2023年度上期）

（２）資金繰り表（12/1）

⑦ 第5回理事会（オンライン併用）

日時：2024年3月11日（月）

場所：愛知県林業会館 2階研修室

議案：第1号議案 休眠預金事業__草の根活動支援事業2023の実行団体内定を承認

第2号議案 2024年度事業計画及び収支予算を承認

報告事項：（１）休眠預金事業の進捗状況

（２）2023年度における休眠預金資金分配団体の公募

（３）資金繰り表（3月1日）

5 事務局会議の開催

本財団の業務執行理事と事務局職員による事務局会議を開催し、業務の進捗状況、課題、取組方法などを議論した。全てオンライン開催で原則として毎週月曜日、計46回開催した。